

イタリアの市場環境

作成日 2019年5月21日

欧州では、欧州議会選挙への注目が高まっています。イタリアでは、サルビーニ副首相が財政赤字拡大を示唆したことで、同国国債利回りは上昇しました。目先は不安定な市場の動きが予想されますが、政治情勢や景気動向を見極めながら、イタリア金融市場は次第に落ち着きを取り戻す見込みです。

《イタリア国債利回りが上昇している背景》

- 米中貿易摩擦問題への懸念が高まり、世界的に投資家心理が悪化していること
- 欧州議会選挙（5月23日～26日）への警戒感が高まっていること
- イタリアのサルビーニ副首相の発言により、同国の財政赤字拡大が懸念されたこと

米中貿易摩擦問題への懸念

- 米国による中国製品への第3弾の関税引上げ（5月10日）に対抗して、中国が報復措置を発表したことにより、世界的に投資家心理が悪化しました。市場ではリスク回避的な動きが広まる中で、イタリア国債への売り圧力となりました。

欧州議会選挙への警戒感

- 5月23日～26日に実施される欧州議会選挙に注目が集まっています。
- 選挙結果を踏まえて、2019年10月末に任期切れとなるユンケル欧州委員会委員長とドラギ総裁ECB（欧州中央銀行）の後任人事をめぐる市場の思惑が浮上し始めそうです。
- 欧州委員会委員長については、イタリアの財政政策に対して、どのようなスタンスをとる人物が選出されるかが注目されます。
- ECB総裁について、タカ派（金融引き締めを積極的で利上げ賛成派）のイメージが強いドイツから選出されるとの思惑が広がる場合には、イタリア国債利回りの上昇要因となりそうです。
- また、イタリアにおける欧州議会選挙の結果次第で、与党連立の解消、解散総選挙への懸念が高まる可能性にも警戒が必要です。

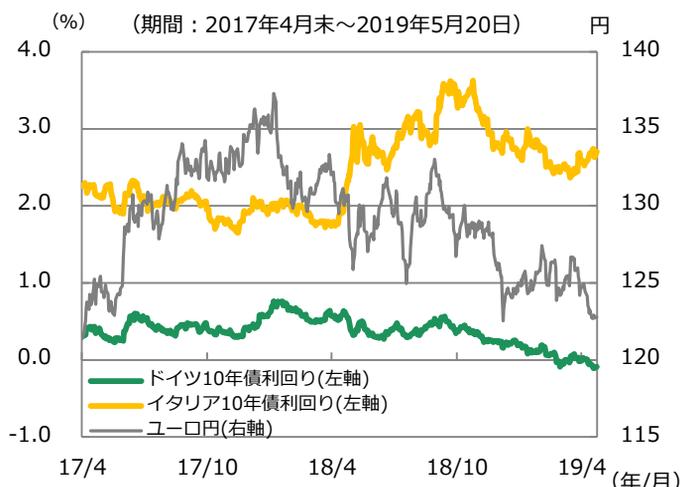
イタリア財政拡大への懸念

- イタリアで解散総選挙となった場合に次期首相への就任が有力視されているサルビーニ副首相が、「財政規律に反してでも雇用を促進させる」とコメントしたことを受けて、同国の財政安定化見通しに対する懸念が広がりました。

今後の見通し

- 今後、イタリア経済が悪化した場合には、今秋のEU（欧州連合）との同国2020年予算交渉において、財政再建のためVAT（付加価値税）引上げを要求される可能性が高まります。ただし、直近の実質GDP（2019年1-3月期）は前期比+0.2%とマイナス成長を脱しており、今後も緩やかな成長が確認できれば、政治情勢を見極めながらイタリア金融市場も落ち着きを取り戻す見込みです。

欧州国債金利とユーロ円（為替）の推移



イタリアに関連する今後の重要日程(2019年)

日程	イベント
5月23日～26日	欧州議会選挙
9月6日	ムーディーズによるイタリア格付け見直し
9月27日まで	政府によるマクロ見通し及び財政目標提出
10月15日まで	2020年の財政計画案をEUに提出
10月25日	S&Pによるイタリア格付け見直し

出所：各種報道資料より明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。各主体は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任はありません。